

芦屋ルネサンス チャレンジ 2030(案)ーその1

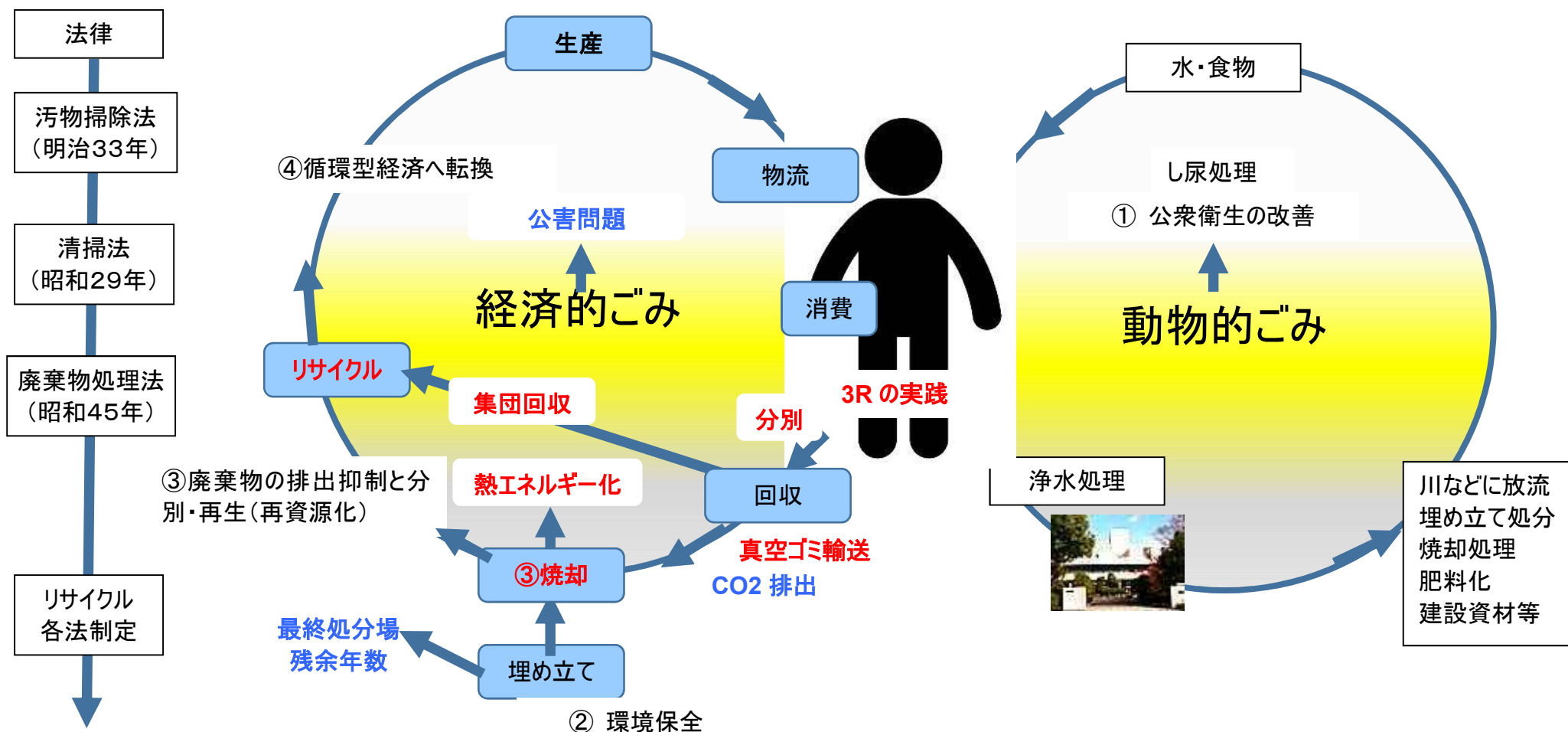
～芦屋市と芦屋市民の参加・協働による持続可能な循環型社会の構築と脱炭素社会への貢献～



芦屋市廃棄物等減量推進審議会 委員
山口能成

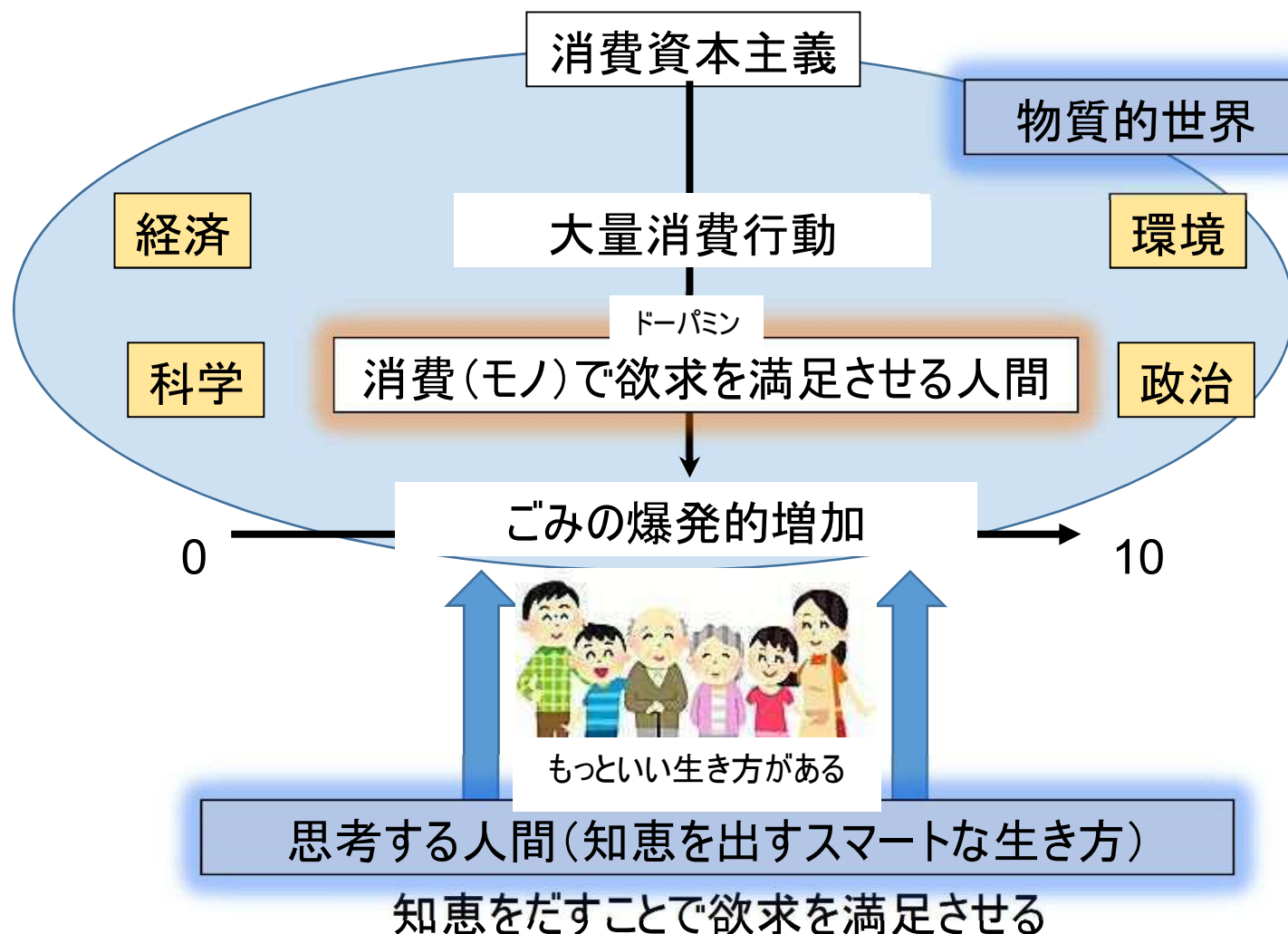
●人間はごみを生み出す動物である

人間は生きている限りごみを生み出す存在（動物のごみと経済のごみ）である。動物のごみとしてのし尿処理は公衆衛生の改善という観点で污水处理場が設置され、公衆衛生の改善がなされた。一方、経済のごみは、経済発展により大量生産・大量消費の生活様式で大量に生み出され、それを処理するために埋め立て処理、焼却処理、再資源化等の対策がなされているが、循環型経済へ転換を前にして、最終処分場残余年数問題、CO2 排出問題、再資源化、分別などまだまだ多くの問題が残っており、最近ではプラスチック問題、新型コロナによるごみ増加などごみ減量化はスムーズに進んでいない。



●ごみ問題の本質－本来の人間らしさを取り戻す

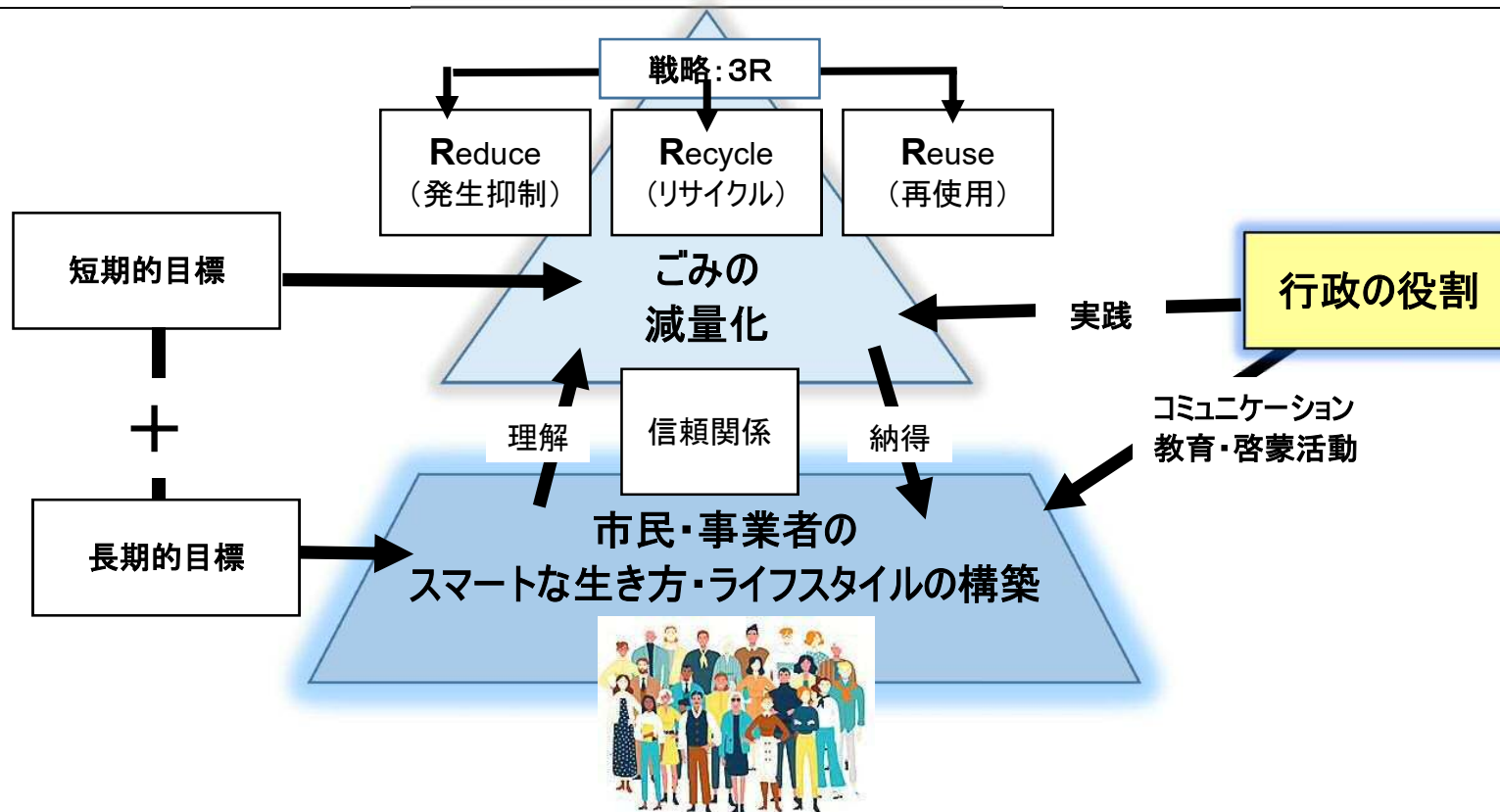
ごみ増加の根本原因は 20 世紀に生まれた消費資本主義にある。そこでは「物の消費で自分の欲求を満たす」ことが人間の行動の基本となった。しかしながら、ごみの爆発的増加に象徴されるように、このような価値観や行動ではもはや環境問題をはじめとして地球全体がうまく機能しなくなった。経済・政治・科学・環境などが複雑に絡み合い、消費資本主義の価値観を一挙に変えることは現実的ではない。そこで、今後は、物質的欲求のかわりに本来人間が持っている「人間の思考する力・知恵をだすことで欲求を満足させるスマートな生き方」に価値がある考え方やライフスタイルに一步一步変えていかなければならない。



●基本戦略

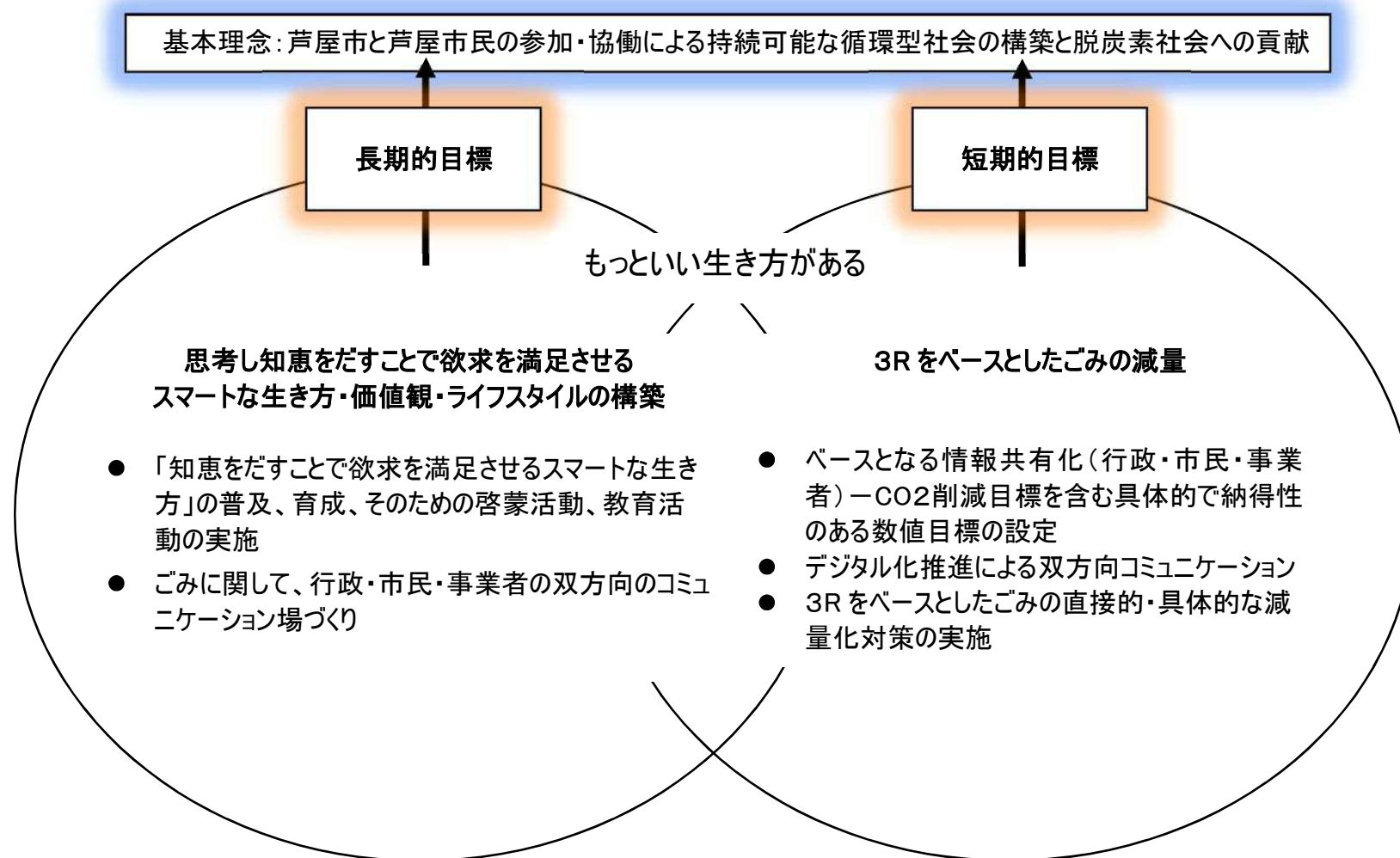
「市民の参加・協働による持続可能な循環型社会の構築と脱炭素社会への貢献」には、3R(ごみの排出抑制、再使用、再資源化)をベースとした行政の継続的なごみ減量化活動とともに、長期的に10年程度の期間をかけて、消費(モノ)で欲求を満足させる人間から段階的に芦屋市民の意識やライフスタイルの変革を促していくことが必要となる。ごみ減量化は行政だけの問題ではなく、一人ひとりが持っている価値観やライフスタイル、事業活動のあり方が根本的な問題となる。そのためには、内発的・自立的に、「思考し、知恵をだすことで欲求を満足させるスマートな生き方」の価値観への転換をすることにより、環境・地域社会を循環型社会づくりや脱炭素社会への貢献を進めていく必要がある。そして、市民や事業者がごみの現状を正確に理解し、更に減量化推進の「納得」が大切になる。理解するだけでは活動には力不足で、納得してこそ活動の原動力が生まれると考えている。ごみの減量化は、継続的に3Rを進めるとともに消費資本主義から人間主体への市民・事業者の価値観の転換が必要となる。

基本理念：芦屋市と芦屋市民の参加・協働による持続可能な循環型社会の構築と脱炭素社会への貢献



●目標の設定—何を目標とするのか

今回の提案は、基本理念を実現するために、2つの目標、長期的目標と短期的目標を設定した。



*「知恵をだすことで欲求を満足させるスマートな生き方」の具体的な事例として、添付の「3R 実践記録—知恵をだすスマートな生き方」を参照

3R 実践記録－知恵をだすスマートな生き方

	アイデア・ニーズ	方法	メリット	費用
1	おいしい水を飲みたい	ダイエーの浄水装置で水をもらう	おいしい水とペットボトル「0」化	500 円
2	口にするすべての水を浄水したい	ブリタ 浄水器 ポットの購入	おいしい水とペットボトル「0」化	3000 円
3	ピアノを処分したい	タケモトに販売	ピアノの有効活用(東南アジアへ)	0 円
4	5000 冊の本を処分したい	ダンボールに入れてブックオフに販売	部屋の片付けができた	+13000 円
5	DX7 シンセサイザーを処分したい	ネットオークションにだす	部屋の片付けができた	+5000 円
6	本の購入	アマゾンでの中古本の購入	安価な本の購入ができる	—
7	家庭内のごみ分別の仕組みをつくりたい I	アマゾンで複数の分別用ゴミ箱購入	分別が簡単に家庭でできる	2300 円
8	家庭内のごみ分別の仕組みをつくりたい II	店の紙袋を雑がみ入れに使用する	雑がみの処理が簡単にできる	0 円
9	家庭内のごみ分別の仕組みをつくりたい III	アマゾンダンボールをダンボール入れにする	ダンボールの処理が簡単出できる	0 円
10	お茶のペットボトルを使用しない	毎朝お茶をつくりボトル保管(仕事用)	美味しいお茶とペットボトル「0」化	0 円
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				